

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年3月31日 (2016.3.31)

【公表番号】特表2015-505553(P2015-505553A)

【公表日】平成27年2月23日 (2015.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-012

【出願番号】特願2014-555212(P2014-555212)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/407 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/407

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 19/04

A 6 1 P 25/04

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 19/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年2月5日 (2016.2.5)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 3 6 】

好ましい実施形態において、本発明による医薬剤形は、経口投与に適合されている。本発明による医薬剤形の投与の好適な他の経路には、膣および直腸投与が含まれるがこれらに限定はされない。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 0

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 0 】

結晶性製剤からの薬理学的に活性な化合物の溶出速度は、例えば薬理学的に活性な化合物の約 2 ~ 5  $\mu\text{m}$  の粒度への慣用の微粉化による、粒度の減少（それによって溶出のための表面積が増加する）により増加することができる。時として、これでは十分ではなく、ナノ結晶技術が適用される。ナノ結晶は 1 0 0 ~ 2 5 0 nm の粒度を示し、これはボールミル粉碎により、または高密度ガス技術により得ることができる。